

人間行動への地理学的接近

人間行動学概論Ⅱ 第1週

「地理」のイメージ

- ▶ 中学・高校までの地理
 - ▶ 二つの分野
 - ▶ 地誌的分野＝国内外の地域ごとに自然・人文事象の列記(日本地誌、ヨーロッパ地誌)
 - ▶ 系統的分野＝都市の内部空間(都市地理学)、工業の立地や農業産地の形成(産業地理学)
 - ▶ 受験科目としての扱い
 - ▶ 地理好きな人、そうでない人

▶ 2

地理学の起源と学問の分化

- ▶ 地理学(geography)の起源
 - ▶ geo(土地)+graphy(記述)＝自然・人文を含む博物学
 - ▶ プトレマイオス(150年頃)『地理書Geographia』
- ▶ 哲学者カント(1724～1804)
 - ▶ 時間(歴史学)と空間(地理学)を区分
- ▶ 学問の総合化と専門分化
 - ▶ 19世紀以降後者が顕著に
 - ▶ 社会学・心理学の誕生＝19世紀

▶ 3

他分野との差異と類似性

- ▶ 歴史学
- ▶ 社会学
- ▶ 言語学

▶ 4

歴史学＝通時性

$t_1 \rightarrow t_2$
 $A \rightarrow B$

▶ 5

地理学＝共時性

$t_1 \rightarrow t_2$
 $A \rightarrow B$ p_1

$t_1 \rightarrow t_2$
 $A \rightarrow C$ p_2

▶ 6

社会学
豆腐を売る人と
買う人
=人間関係



▶ 7

地理学
東京の下町と
高齢者の生活
=人間・環境
関係




▶ 8

言語学=言語の文法、用法、語彙、表現などの研究

▶ 9

地理学=言語の地域差(方言)の研究・調査のための基本的ツール

言語



▶ 10



大阪市立大学での地理学

- ▶ 国内外都市における
 - ▶ 住宅問題、ホームレス・貧困問題、文化活動、まちづくり
- ▶ 国内外地域における
 - ▶ 政治行動の地域性とその意味、地域格差・環境問題
- ▶ 地図の活用
 - ▶ 古地図の読解、GIS(GPSの情報を基礎にした地理情報システム)による分析と応用

▶ 12

フィールド・ワークの重視→知らない世界・地域・文化に接触



在日コリアン集住地区 (神奈川県川崎市)



沖縄「聖地」の現状 (沖縄県南城市)

地場産業(ワイヤーロープ)の盛衰
(大阪府貝塚市)



アメリカの都市と防犯 (米国ワシントンDC黒人居住区)

隔離壁によって分断される街(パレスチナ
自治区東エルサレム)



どんな研究を？

- ▶ 27年度卒業論文
 - ▶ 「大阪産(もん)」からみる都市近郊農産物の空間的広がり
 - ▶ 獣肉利活用は獣害対策に貢献するのかー三重県みえジビエを事例として
 - ▶ 町並み保存地区における外国人観光客受け入れー長野県南木曾町妻籠宿を事例として
 - ▶ 中心市街地活性化におけるコミュニティビジネスの役割と意義ー和歌山県和歌山市を事例として
 - ▶ 映画製作がもたらす地域への影響ー奈良県大和郡山市を事例に
- ▶ 24年度修士論文
 - ▶ 日本に居住する中国人若者の生活空間利用の変容ー大阪を事例として
 - ▶ 土地区画整理事業と地権者の対応ー尼崎市旧大庄村地域を事例として

取得可能な資格

▶ 「(専門)地域調査士」

- ▶ 「地域調査士」「専門地域調査士」とは、地域の総合科学である地理学をベースとし、地域調査の知識や技術を用いて地域の自然現象、社会現象、人文現象等を総合的にとらえる調査能力を有する「地域調査の専門家」、「地域調査のプロフェッショナル」のことです。これらは、公益社団法人日本地理学会の認定する資格であり、「地域調査士」「専門地域調査士」の二種類があります。

▶ 19

教員・教室の紹介

- ▶ 教員5(教授3、准教授2:女性0)
- ▶ 大学院生7(後期博士3、前期博士4:女性2、留学生1)
- ▶ 学部生43(4年19、3年13、2年11:女性23、留学生3)

▶ 20

大場茂明(おおばしげあき)

- ▶ 土地・住宅政策、都市開発・再開発事業を中心とする日本・ドイツにおける都市政策の比較研究。
- ▶ 大阪市大修、静岡県出身



▶ 21

水内俊雄(みずうちとしお、大学院担当)

- ▶ 都市の社会問題の現状や歴史的経緯についての都市社会地理学的研究。
- ▶ 都市や地域の形成についての、歴史地理学、および都市史研究。日本と東アジアにおけるホームレス支援に関する政策・NPO支援研究。
- ▶ 国土開発、地域開発の政治地理学的研究。
- ▶ 京都大修、和歌山県出身



▶ 22

山崎孝史(やまざきたかし)

- ▶ 政治地理学、地政学、沖縄研究。
- ▶ グローバリゼーションや国際情勢の変化が特定の場所に生活する人々にどのような政治的行動を惹起させるのかを日本および沖縄を事例として研究している。
- ▶ 京都大・コロラド大(博)修、京都府出身



▶ 23

祖田亮次(そだりょうじ)

- ▶ 第三世界における都市-農村関係論、河川流域学・災害文化論、東南アジア地域研究
- ▶ 京都大(博)修、京都府出身



▶ 24

木村義成(きむらよしなり)

- ▶ 地理情報システム論、保健医療分野におけるGISの応用研究、インフルエンザをはじめとする疫学研究
- ▶ 大阪市大修、奈良県出身



▶ 25

教室の寸景

- ▶ 文学部棟の西の端(2・3階)を占拠
- ▶ 院生さんたち
- ▶ 学部生さんたち

▶ 26

結構ゆったりとした研究環境



▶ 27

院生=GIS企業、シンクタンク、銀行、公務員、大学研究職などに就職



▶ 28

地理学実習(大場教授)



学部生=一般企業、銀行、中・高教員、公務員などに就職、大学院進学も

▶ 29

さあ、宴会だっ!



▶ 30

地理学は
マイナーでっけど
いろんなことができませ〜

HP: <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/>
Email: yamataka@lit.osaka-cu.ac.jp